

大雨が降ったときの危険を知ろう！ ～名張市立箕曲小学校における防災教育～



水防災意識社会
再構築ビジョン

木津川上流河川事務所

防災教育の取り組み強化の一環として、文部科学省（教育委員会・小学校）と国土交通省（木津川上流河川事務所）が連携・協力して名張市立箕曲小学校で河川・防災教育の授業が行われました。

10月に台風21号洪水を経験したばかりの児童たちに、大雨が降ったときの危険と地域にある危険なところについて学習し、児童たちで防災マップを作りました。

- 日時：平成29年11月18日（土）8:50～9:45（総合学習）
- 場所：名張市立箕曲小学校（5年生：21名）
- 協力：木津川上流河川事務所



「大雨が降ったときどんな危険がありますか？」(先生)



「用水路の水がふえる」「川がはらんする」(児童)

台風21号洪水を踏まえて学習

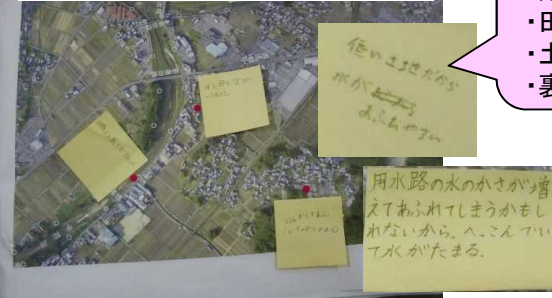


台風21号で大雨が降ったときの様子を地域の道路浸水状況を交えて説明（宇陀川の道路冠水状況）

【問題】(○×クイズ)
・道路に水が浸かっています。水の深さがヒザより低いくらいなら安全に避難所へいけるかな？(先生)

【正解】×「水で道路が見えなくて用水路などにはまるから」(児童)

【大雨が降った時の危険箇所】



【職員による解説】



- ・低い土地から水があふれやすい
- ・用水路の水かさが増えあふれる
- ・田んぼの道が水であふれてあぶない
- ・土地の低さが低い
- ・裏山が崩れる

クイズ形式による学習



地区別に防災マップづくり



授業を受けた児童の感想

- ・ 私たちの住んでいる箕曲地区にいろんな危険があることが分かった。
- ・ 身近なところに危険があると改めて思った。
- ・ これからは大雨がふると危険な所に気をつけていきたい。
- ・ 台風で川がはらんすると道がどこかわからなくなるのでこわいと思った。
- ・ 今日分かったことをお母さんやお父さんと話したいと思った。
- ・ 大雨はととてもこわいものだと知る事ができ、この勉強ができてよかった。
- ・ 大雨がふったら、今日のことをおもいだして行動できるようになりたい。

先生からも「授業の実施にあたり、災害の写真や資料を提供いただき大変役立ちました」との声をいただきました。

大雨がふった時の危険について知ろう

～地域にある危険なところを分けておこう～

学習を終えて…

今日は箕曲小学校に来て、授業していただきありがとうございました。授業中に、地域の危険なところを分けておこうと、お話を聞きました。大雨がふると、川がはらんして、田んぼの道が水であふれてあぶない。低い土地から水があふれやすい。用水路の水かさが増えあふれる。裏山が崩れる。今日分かったことをお母さんやお父さんと話したいです。大雨はととてもこわいものだと知る事ができ、この勉強ができてよかった。大雨がふったら、今日のことをおもいだして行動できるようになりたい。

【問い合わせ先】

国土交通省 近畿地方整備局 木津川上流河川事務所 調査課
〒518-0723 三重県名張市木屋町812-1
TEL 0595-63-1611 (代)

人々の暮らしを守り 自然を守り 川とともに生きる

木津川上流河川事務所

